

よっかいち

No.320 令和元年8月5日発行

# 市議会だより

6月  
定例会議会号

議員22名による一般質問… P 7～15

## ●●● 6月定例月議会の概要 ●●●

四日市市議会は、6月定例月議会を6月10日から7月4日までの25日間の日程で行いました。

6月定例月議会では、10月からの幼児教育・保育の無償化の実施に伴う事業費の補正や昨年9月4日の台風21号による被害を受けた川島小学校の法面安全対策工事の増額補正などを行う、令和元年度一般会計補正予算や子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正についてなど、市長から提案された15議案を審議し、原案のとおり可決しました。

### 6月定例月議会の日程

- 6月10日(月) 初日(報告、議案説明、質疑、委員会付託、教育民生常任委員会、委員長報告、質疑、討論、採決)
- 17日(月) 一般質問
- 18日(火) 一般質問
- 19日(水) 一般質問
- 20日(木) 一般質問
- 21日(金) 一般質問、質疑、委員会付託
- 24日(月) 各常任委員会(総務、教育民生、産業生活、都市・環境)／  
予算常任委員会分科会(総務、教育民生、産業生活)
- 28日(金) 予算常任委員会全体会
- 7月 4日(木) 最終日(委員長報告、質疑、討論、採決)
- 
- 7月10日(水) 議会報告会(総務、教育民生)
- 12日(金) 議会報告会(産業生活、都市・環境)





## 委員会審査の概要

常任委員会における条例の一部改正や契約を締結しようとする議案などについての審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

### 総務常任委員会

◆ **四日市市火災予防条例の一部改正**について、委員からは、今回の住宅用火災警報器の設置免除に係る改正について、小規模な宿泊施設等にどのような影響があるのかとの質疑があり、担当部局からは、延床面積が300㎡未満の小規模な宿泊を伴う施設については、以前は自動火災報知設備の設置義務がなかったが、施設の安全性を高めるため、この設置が義務化された。宿泊部分と住宅部分が分かれている民泊等では、従来であれば住宅部分に住宅用火災警報器を設置する必要があったが、今回の改正により、特定小規模施設用の自動火災報知設備を設置すれば住宅用火災警報器の設置が免除されるとの回答がありました。



### 教育民生常任委員会

◆ **四日市市子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正**について、委員からは、窓口負担無料化について、現在は未就学児が対象だが、無料化の対象を広げてほしいという声がある中で、本市において対象を広げるための議論はなされているのか、また、窓口負担無料化は子育て支援策の一環であるが、ここから更に子育て支援を進めていくために、どのようなことを考えているのかとの質疑があり、担当部局からは、子ども医療費の助成に係る制度のあり方については、新総合計画策定の中で議論していきたいとの回答がありました。これに対して委員からは、制度だけではなく、子ども視点での子育て支援をどのように考えていくのか、また、その中で子ども医療費助成がこういった位置づけになるのかを確か

り考えた上で、新総合計画の策定をしてもらいたいとの意見がありました。



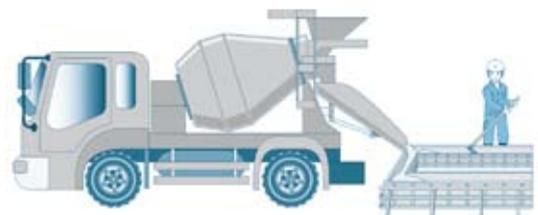
### 産業生活常任委員会

◆ **町及び字の区域の変更**については、三重県が新たな下水道施設用地として公有水面を埋め立て、竣工認可されたことに伴い、新たに生じた土地を確認するとともに、町及び字の区域の変更をしようとするものであり、別段、質疑及び意見はありませんでした。

### 都市・環境常任委員会

◆ **工事請負契約の締結**について、委員からは、四日市市中央陸上競技場では、本件に係る芝張替及びトラック再舗装工事以外に、照明設備のLED化等の改修工事は行わないのかとの質疑があり、担当部局からは、平成25年度に照明設備のLED化工事を実施し、平成30年度より2カ年に渡りスタンド棟の改修を行ったとの回答がありました。これを受け、委員からは、改修後はJリーグスタジアム基準を満たす仕様となるのかとの質疑があり、担当部局からは、改修後も諸室の確保等の課題があることから、Jリーグスタジアム基準を満たさないとの回答がありました。

委員からは、三重とこわか国体の開催を好機として捉え、市民の気運を醸成し、より多くの方が利用できるようにしてほしいとの意見がありました。



## 予算常任委員会 審査の概要

予算の審査については、総務、教育民生、産業生活の各分科会で、おののの所管に属する予算について詳細な審査を行った後に、予算常任委員会の全体会において各分科会からそれぞれの審査の経過と結果の報告を行い、必要な事項については全体会で審査しました。  
全体会および分科会における主な意見等の概要をお知らせします。

### 予算常任委員会全体会

- ◆ 全体会において、委員から全体会審査すべきものとして追加提案された事項もなく、令和元年度四日市市一般会計補正予算第3号について、別段異議はありませんでした。

### 予算常任委員会分科会

#### 総務分科会

- ◆ **財政調整基金積立金**について、委員からは、収支差の財源2億円近くについて財政調整基金に積み立てるとのことであるが、いたずらに当基金への積立額が増えていくように感じる。当基金の積立額の目標を明確に持ち、余剰分をアセットマネジメント基金など他の用途に使うという考え方も必要ではないかとの質疑があり、担当部局からは、行財政改革プランにおいて、財政調整基金の積立額は100億円を下回らないことを目標としており、上限額については定めていない。当基金は、災害により減収が生じた場合や、経済事情の変動等により財源が著しく不足する場合に備えたものであり、普通交付税不交付団体である同格市の中では、本市よりも多額の積立を行っている市もあることから、本市の現在の積立額が適正な水準であるかはさらに研究が必要と考えている。今年度は幼児教育・保育の無償化に関して国から臨時交付金が交付されているが、来年度以降の交付はないことが分かっているため、年度間の財源調整を行う必要があることから、当補正予算において、収支差の財源約2億円を財政調整基金に積み立てるものであるとの回答がありました。

#### 教育民生分科会

- ◆ **幼児教育・保育の無償化**について、委員からは、幼児教育・保育の無償化によって保護者は経済的には助かるが、少子化問題や待機児童は解消されていくのかとの質疑があり、担当部局からは、本年度4月1日時点で、本市の待機児童は9年ぶりにゼロとなった。ただし、途中入園についてはまだまだ厳しい状況である。本年度10月1日から無償化を実施して、各家庭の負担軽減を図っていきたいが無償化が始まることに関して就学前教育・保育の利用に関す

るニーズ等については影響が出ると考えており、保育園の利用が低年齢化する可能性もあるため、10月から実施される無償化の動向を見極めていきたいとの回答がありました。

- ◆ **補足給付事業費、保育所管理運営費（公立保育園・こども園給食）**について、委員からは、幼児教育・保育無償化に伴う給食費の保護者負担額について、年収360万円を超えると月額900円から4,600円に大きく増加するが、年収360万円の間層が一番多く一番生活に影響があるため、年収360万円を少し超えただけで金額が大きく変わるの厳しいと感じる。この年収のボーダーラインをもう少し上げるなどの検討はできないのかとの質疑があり、担当部局からは、給食費は食費であり日常的に発生する費用であるため、子ども医療費や不妊治療費における所得制限の考え方とは背景が若干違うと考えるが、新総合計画策定の中で議論していきたいと考えるとの回答がありました。

#### 産業生活分科会

- ◆ **担い手確保・経営強化支援事業費**について、委員からは、配分予定額の通知がくるまでの一連の流れを確認したいとの質疑があり、担当部局からは、まず、四日市市が地元農家から要望を受け付け、対象の要件を満たすものは三重県を通じて国に要望している。その後、国による採択が行われ、三重県を通じて配分予定の通知がくることになっているとの回答がありました。

#### 都市・環境分科会

- ◆ 6月定例会月議会では、付託された議案はありませんでした。

## 6月定例月議会における議案に対するご意見について

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。6月定例月議会で実施した主なご意見の概要は、次のとおりです。いただいた意見は全て市議会ホームページに掲載しています。

◆四日市市火災予防条例の一部改正について 1件  
 〈意見〉 ボランティア活動で高齢者の悩み等を傾聴するため家を訪問していると、お茶を出してもらおう際に、ガスを使っている事を忘れてしまっている方を見かける。こういった事は、特に高齢者に多くおこると思うので、電化する対策を条例化してもらいたい。私の地区は高齢者ばかりなので、人に迷惑が掛からないよう、消防車が要らない社会づくりをしていただければ、条例など必要ないのではないかな。

◆コミュニティ助成事業費補助金（地域防災組織育成助成事業費）について 3件  
 〈意見〉 各地区の防災組織力は違うと思うが、補助内容をもう少しわかりやすくしてはどうか。たとえば、事業内容の例を提示するなど、どれだけの費用がどの事業には必要になるのかの提案も添付すれば、各地区の防災力について何が足りないのかが分かり補助申請しやすくなるのではないかな。

◆四日市市子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正について 2件

〈意見〉 未就学児の現物給付を市内医療機関から三重県内に。現物給付に拡大する条例の一部改正を小出しにせず、小学校・中学校の現物給付について市内医療機関に限り拡大するように希望する。

◆コミュニティ助成事業費補助金（一般コミュニティ助成事業費）について 2件

〈意見〉 ①仕組みがよくわからないので、何故三重県や四日市の行政がかかわるのか？実施団体と財団法人が直接やり取りを行って決める方が早いのでは？ ②行政が関わるのであれば、申請案件すべてを示して優先順位をつけて案件ごとの補助金の必要性を明確にし、市民が納得できる説明が不可欠 ③補助金決定後の補助金の使用明細を示し、当初の目的が適切に達成できたか否かをフォローアップする必要あり

②③については現状実行されているとは思いますが、市民に"見える化"をしてほしいと思う。お金は出す側も使う側も真面目に正直に対応することで、無用の混乱を防ぐことが可能と思う。

8月定例月議会については、8月22日(木)に市議会ホームページ(<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>)に議案および議案資料を掲載し、9月5日(木)までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしています。

## 8月定例月議会の議会報告会の予定

8月定例月議会の議会報告会を10月10日、11日に開催します（詳細は下記参照）。事前のお申し込みは不要ですので、参加を希望する会場にどうぞお気軽にお越しください。

※シティ・ミーティングのテーマが決定しましたら、市議会ホームページやチラシ等でお知らせいたします。

※頂戴するご意見は口頭によるものを基本とします。

第1部：議会報告会		第2部：シティ・ミーティング（意見交換会）		
日時	令和元年10月10日(木)		令和元年10月11日(金)	
	18:30～20:45		18:30～20:45	
常任委員会	総務	都市・環境	教育民生	産業生活
会場	河原田地区市民センター 2階大会議室	防災教育センター (北消防署併設)2階防災センター	神前地区市民センター 2階大会議室	内部地区市民センター 本館1階会議室
	河原田町159	富田2丁目4-15	高角町2977	采女町857-1
所管事項	市政の企画、財務、 危機管理、消防、 シティプロモーションなど	道路、住宅、上下水道、 環境衛生、国体など	教育、子ども、 健康福祉など	商工業、農林水産業、 市民文化、市立病院など

※全会場、手話通訳いたします（事前予約は不要です）。

※進行状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

※天候等により中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、開催3時間前に、大雨、暴風、大雪、津波のいずれかの警報が発表された場合、あるいは開始3時間前の時点で短時間のうちに各警報が発令される可能性が高いと認められる場合、また市域に震度4以上の地震が発生した場合は、開催を取り止めとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。なお、開催を取り止める場合は、市議会ホームページやフェイスブック等でお知らせいたします。

## 一般質問から

一般質問は、定例会議会が開かれたときに、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

6月定例会議会は、22人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」または「会議録（次の8月定例会議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

### 都市整備

## 本市の西南部地域の今後を考える



新風創志会  
井上 進



**議員** 本市の西南部地域は、市街化調整区域が多く、農業振興地域に指定され、土地利用に対してさまざまな制約があり地域に工場や商業施設を誘致できない。商業施設や、工場等の誘致を図れば、地域住民の就労の場ともなり、この地に移り住む住民も増え、地域を活性化させる活力源となると考えるがどうか。

**都市整備部長** 都市計画マスタープラン全体構想では、内陸の工業専用地域に隣接する区域などにおいて、既存の道路などの都市基盤に負担がかからない範囲に限定して必要な生産機能の拡充を図るなど、産業用地として土地利用誘導を図ることとしている。今後、商工農水部など関係部署とともに、全市的なまちづくりの観

点から、必要に応じて新たな産業立地が可能となるよう検討していきたい。

**議員** 高齢者による自動車運転中の事故が続いているが、買い物や通院において移動手段となるべき公共交通の充実が必要不可欠である。西南部地域にはバス路線しかなく、しかも停留所までは遠い。公共交通の不便さを改善し、本市に住むすべての住民が移動しやすい、公共交通網の整備をすべきと考えるがどうか。

**都市整備部長** まずは、現在の鉄道を中心に、郊外の大規模な住宅団地へ向かうバス路線網が維持できるよう、適切に居住の誘導を図るとともに、市の骨幹をなすバス路線網の確保や利便性の向上に取り組む必要があると考えている。

### 選挙

## 投票率43.14%をどう捉えるのか



新風創志会  
早川 新平



**議員** 本年4月21日に行われた四日市市議会議員選挙の投票率は過去最低の43.14%であった。投票率が低くなっている原因を探るためには、投票所ごとの投票率を集計する必要があると考えるが、期日前投票所と当日投票所の投票率が別々になっているのはなぜか。

**総務部長** 投票録は、投票所毎に作成することになっており、期日前投票した人は、期日前投票所の投票録に集計されるためである。当日投票した人と期日前投票した人を合わせた投票区毎の投票率を把握することは、次の選挙に向けた検討資料として有用と考えるので、今後そういった資料を作成していきたい。

**議員** 今回の市議会議員選挙において実施した投票所出口でのアンケートで、投票率を上げるための取り組みを調査していたが、各投票所における特徴などはあったのか。

**総務部長** 現段階では、各投票所の特徴までは集計できていないが、回答にはインターネット投票や郵便投票ができるようにしてほしいと

いった意見があった。郵便投票の対象者拡大など法改正が必要なものは、全国市区選挙管理委員会連合会を通じて国に要望しており、効果的と思われる意見があれば取り入れて、投票率の向上に努めていきたい。

**議員** 投票所付近の道路が狭いといった原因もあると考えるため、ハード面の整備についても、しっかりと進めていくことを強く要望する。



投票所周辺の狭隘道路

## 歯と口の健康

# 子どもの歯を守る！小学校で歯みがきを実施せよ



新風創志会  
谷口 周司



**議員** 本市の虫歯のない12歳児の割合は、平成30年度は64%で、全国平均67%に比べると低い。また、学年別では小学3、4年生に虫歯が多い傾向があるが、本市の見解および虫歯予防の取り組みはどうか。

**教育長** 虫歯のない12歳児の割合は10年前と比較して約20%向上し、1人あたりの虫歯数も半分以下に減少するなど、大幅に改善している。歯の生え変わりの時期である3、4年生は虫歯率が高く、課題であると認識している。各校では、学校歯科医と連携し、発達段階に合わせた指導を行っているほか、歯磨きを習慣付けるために家庭に対しても働きかけを行っている。

**議員** 他自治体では、小・中学校での給食後

に歯磨きを行うことで成果を出している事例があり、食後の歯磨きが効果的であると考えます。本市においては、保育園や幼稚園では昼食後に歯磨きを行っている一方で、小学校ではほとんど実施されておらず、子育て世帯からは疑問の声が上がっている。せっかく身に付けた歯磨きの習慣を途絶えさせないためにも、全市的に学校給食後の歯磨きを実施すべきではないか。

**教育長** 既に実施している小学校の取り組み内容や工夫を把握し、効果的な方法をすべての学校に周知することで取り組みを進めるよう働きかけていきたい。また、強化週間を設けるなど、園で身に付けた習慣をさらに定着させ、自ら歯磨きを行う子どもを増やしていきたい。

## 交通安全

# 道路にかかる安全と課題について



新風創志会  
石川 善己



**議員** 通学路の安全確保に向けた連携強化のため、四日市市通学路交通安全プログラムを策定し、通学路交通安全推進会議が設置されているが、取り組み状況はどうか。また、横断歩道の白線の引き直しなどは、通学路の危険箇所として通学路交通安全推進会議へ報告されれば、通常より迅速に対応が可能という認識でよいか。

**教育長** 警察署、道路管理者、教育委員会が合同点検をし、対策が必要な場所ごとに検討し連携を図りながら、効果の共有、対策内容の改善、対策箇所の公表をPDCAサイクル（※）として毎年繰り返して実施している。また、通学路の危険箇所は通学路交通安全推進会議にて情報を一元的に集約し、迅速な対応を促していく。

※ 業務を継続的に改善していく手法の一つ。Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善）の4つの頭文字を取ったもの。

**議員** 危険箇所の報告について学校への指導が必要ではないか。また、危険な空き家などにより通学路の迂回が長期化する場合、不安解消のためのこまめな周知が必要と考えるがどうか。

**教育長** 学校へは安全点検チェックリストにより教育委員会への報告を指示していく。対策が長期化する場合、関係部局と連携して早期改善を促し、保護者に周知したい。

**議員** 青色回転灯搭載車両による防犯パトロールの際、あおり運転等の被害に遭わないようドライブレコーダー設置への補助ができないか。

**市民文化部長** 現行制度で補助対象とするのは難しいが、犯罪抑止に有効であると考えており、試行的に貸出による効果検証を行いたい。

## 点字ブロック

# みんなで守ろう点字ブロック



新風創志会  
平野 貴之



**議員** 近鉄富田駅や近鉄霞ヶ浦駅の駐輪場では、自転車が点字ブロック上に置かれていたり、風で倒れた自転車により点字ブロックが覆われていたりする。点字ブロックを必要とする方の杖がこのようなところに当たると、前を壁で防がれたような状況となる。そして、自転車の隙間に杖が挟まって折れてしまうことにもなり、非常に危険な状況である。このような状況を回避するために、障害のある方々の団体と話し合いの機会を持ち、使いやすい形にすることが重要と考えるがどうか。また、点字ブロックについて、市民への啓発も重要だと考えるがどうか。

**都市整備部長** 点字ブロックの上や至近に自転車を置くことの無いよう注意喚起の看板を設

置するとともに、近鉄四日市駅前に設置されたデジタルサイネージや広報などによる周知を進めていきたい。また、現在の近鉄・三岐富田駅前の点字ブロックについては、当時複数の福祉団体に意見をもらい整備を行ったが、当時よりも自転車の台数も増えているため、点字ブロックの移動などの対策が可能かどうか、改めて検討したいと考えている。

**議員** 駐輪場のシェアサービス「みんちゅう」は、駅周辺の駐輪場に使える土地所有者と、駐輪場を利用したいユーザーとをマッチングするサービスである。駐輪場を少しでも確保しようとする試みであると考えられるため、本市でも取り組めるよう研究してほしい。

## 中学校給食

## 安全・安心な中学校給食の早期実現に向けて

リベラル21  
後藤 純子

**議員** 中学校給食導入にあたり、学校給食を安定して供給し、子どもたちが安心して給食を食べることができる環境を整えることが食育につながると思う。そのため、食中毒等の事故はあってはならないと思うが、予防策や発生した場合の対応策についてはどうか。

**副教育長** 食中毒等の事故については、徹底した予防対策により、まずは発生させないことが重要だと考えており、給食センターにおいては、文部科学省が定める学校給食衛生管理基準に基づき、徹底した衛生管理体制を構築していく。万が一、事故が発生した場合やその疑いがある場合は、食中毒やアレルギーなどの事例ごとに明確に示したマニュアルを作成し、速やか

に連絡できる体制を整えていきたい。

**議員** 多文化共生の観点から宗教的配慮が必要な生徒への対応はどのように行っていくのか。

**副教育長** 入学時等に保護者から家庭や小学校での食事について聞き取り、給食内容の詳しい説明を行うなど、十分な意思疎通を図る必要があると考える。その上で、献立についての必要な情報を提供し丁寧に相談を行っていきたい。

**議員** 保護者や子どもたちに喜ばれる中学校給食を早急実現すべきと思うがどうか。

**副教育長** 令和5年4月の給食センター供用開始を目指し、中学校給食を待ち望む子どもたちと保護者のために、安全・安心で魅力的な学校給食を提供できるよう全力で取り組んでいく。

## 市の組織体制

## 市民から信頼される組織体制を目指して

リベラル21  
森川 慎

**議員** 平成31年2月定例会月議会において、ゆるキャラ® グランプリに大量の組織票が投票されたとされる問題について資料請求したところ、当時は存在しないとされていた資料が提出され、なお未提出の資料があるのではないかと疑義もある。市の不誠実な対応は、都合の悪い情報を隠匿し、一貫して過ちを認めないのではないかと不信感につながるから、本件は市民の信頼を大きく損なう危険性があると思う。緊急性を要する部局にも投票用IDが配布されているが、業務に支障はなかったのか。

**シティプロモーション部長** 資料請求に対しては、その時点で分かっているすべての資料を提出し、誠実に対応した。職員は全体の奉仕者

として使命感を持ち職務に励んでおり、本来の業務を優先するのは当然のことである。個々の職員が業務に支障のない範囲で取り組んでいた。

**議員** 市の対応からは批判を受け止め、次につなげていく姿勢が感じられず残念に思う。以前、本件に反対する職員の意見を紹介したところ、市長からは少数意見の代弁であるとの指摘があったが、少数意見はどう取り扱われるのか。

**シティプロモーション部長** 市長の答弁は熱意をもって応援する職員も多いという趣旨であり、少数意見であっても真摯に受け止めるべきであると認識している。

**議員** 多様な意見を取り入れ、適切な議論を経てより良い四日市市になっていくことを望む。

## 子ども医療費

## 『子育てするなら四日市』の本気度を問う

リベラル21  
村山 繁生

**議員** 子ども医療費助成、不妊治療費助成制度は、所得制限が設けられており、少しでも超過すると助成を受けられない。市民サービスとして平等に還元すべきであると考えことから、所得制限の撤廃または上限を上げることは法的に可能であるのか。また、市独自の制度として対応できないか。

**子ども未来部長** 現状の制度では低所得者層への助成を厚くしている。国や県が定める所得制限の対象とならない部分を市独自の制度として補えば、所得制限の撤廃や変更は法的には可能であるが、上乗せ分は市の財政負担となる。

**議員** 子ども医療費助成と不妊治療費助成、どちらに対しても所得制限の上限変更、撤廃に

ついて検討していくという認識でよいか。

**子ども未来部長** 新総合計画策定において所得制限のあり方についても十分に議論していく。

**議員** この議論は少子化対策に当てはまると思うが、子育てするなら四日市を掲げ、本気で四日市で子育てしたいと思ってもらうためには思い切った策が必要と考える。市として何ができるのか。市長の本気度はどうか。

**市長** 新総合計画の重点プロジェクトである子育て施策の一つとして、この所得制限についてもしっかりと議論していく。

**議員** 子育てするなら四日市というアドバランを掲げるだけでなく、市としてしっかりと足元を固め、前向きな検討を強く要望する。

## 少子高齢化

# 高齢者が元気に暮らしていくために



市民eyes  
伊藤 昌志



**議員** 現在、本市においても4人に1人、25%以上の方が65歳以上となっている。総務省の統計によると20年から30年後には日本の人口の40%にも達するといわれており、元気な高齢者ができるだけ長く自分で生活できるよう、高齢者元気づくり支援事業が行われているが、その中の一つの取り組みであるいきいき百歳体操について、事業の内容、目的、目標はどうか。

**健康福祉部長** 高齢者の元気づくり支援事業は、高齢者が継続的に介護予防に取り組むことを目的とし、単なる運動機能の維持改善だけではなく、日常生活の質を高め社会参加を促すことにより、生きがいがづくりや自己実現を目指して取り組んでいる。百歳体操は、高齢者の方に

※ 椅子に座った状態から立ち上がり3m歩いて、折り返してから再び着座するまでの時間を測定するもの

も簡単にできるようにゆっくりとした動作で行うもので、腕や足に重りをつけて負荷をかけ筋力向上を図っている。

**議員** 百歳体操の効果測定はどのように行っているのか。また、効果の裏付けはあるのか。

**健康福祉部長** 移動、バランス能力の低下の機能評価基準である開眼片足立ちと、日本整形外科学会でも推奨されているTUG(※)を中心に継続的に効果を測定しており、平成29年度のデータでは、開始時、3か月後、1年後の測定において改善がみられている。

**議員** 測定数が少数。効果の裏付け等も目的、目標に合致していない。現代の最重要施策の一つです！元気都市実現の為に正しい施策を！

## 宗教的配慮

# 国際社会に向け、宗教上の対応を明確化すべき



市民eyes  
小林 博次



**議員** 私立保育園において、イスラム教徒の園児に宗教上の理由から食べられない食事を出し、また、育ち盛りの園児に代替食として簡素すぎるメニューを出していた問題について、すべての園でしっかり対応できるよう、ハラル(※)対応マニュアルを作成すべきではないか。

**こども未来部長** 多くの外国人が居住する現在においては、今後も宗教上の配慮が必要な子どもの増加が予想される。そのため、統一した対応ができるよう、マニュアルを作成したい。

**議員** 本市は平成9年に「四日市市部落差別をはじめとするあらゆる差別を無くす事を目指す条例」を制定している。本件については、一人の外国人の人権が尊重されなかったと捉える

※ イスラムの教えで許されたものを意味し、イスラム教徒の生活全般に関わる考え方

ことができると思うがどうか。

**こども未来部長** 宗教は重要な人権の一つであると認識しており、本件については宗教への理解が不足していたことが大きな要因であると認識している。宗教上の配慮が必要な子どもに対応するために、私立の保育園や幼稚園を含め、宗教に関する理解を深められるよう、しっかりと研修をしていきたいと考えている。

**議員** イスラム教では厳しい食事制限のほかに、食事を楽しむことも重視しているとされており、本件はその点についても理解が不足していたのではないかと。本市にはすでに多くの外国人が居住しており、今後も宗教上の対応を軽視することがないよう求める。

## ICT教育

# プログラミング教育実施へ向けた対応を問う



政友クラブ  
笹井 綱予



**議員** 2020年度から、小学校におけるプログラミング教育が必修化される。プログラミング教育は子どもの可能性を広げることにもつながると考えるが、本市のプログラミング教育実施に向けての取り組み状況はどうか。

**教育長** 小学校のコンピュータ室のパソコン40台に、スクラッチ(※)を導入したほか、本年度には学習者用タブレット端末を各校あたり40台配備する。また、「小学校におけるプログラミング教育四日市市版カリキュラム」を作成し、ハードとソフトの両面から計画的に整備を行うことで、本市でのプログラミング教育を確実に推進することができると考えている。

**議員** プログラミング教育の教材不足や指導

方法の情報不足が課題だと考えるが、教材や学習指導案などの対応はどうか。

**教育長** 模擬授業形式の研修会の内容を指導案として作成・配布している。また、具体的な研修用の説明がある映像教材や指導案が掲載されているホームページも併せて紹介している。

**議員** タブレット端末を教室で活用するための通信環境整備が重要であるが、本市の整備状況はどうであるか。

**教育長** タブレット端末の導入にあたり、無線による通信環境を整備し、タブレット端末のネットワークへの接続を可能にする。

**議員** プログラミング教育が、子どもの自信につながることを期待する。

※ アメリカのマサチューセッツ工科大学が開発したプログラミング学習用ソフト

人材育成

本市における人材育成の取り組みを問う



リベラル21  
竹野 兼主



**議員** 兵庫県西宮市では、「西宮市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例」が施行されている。要望等の記録や不当要求行為に対する措置、内部公益通報に関する制度について定め、職員の公正な職務の執行を確保し、もって市民に信頼される市政を確立することを目的としているが、本市においても職員の労働環境の改善向上に、条例が必要だと考えるがどうか。

**総務部長** 西宮市の条例は、口頭による要望の記録や、書面による警告といった具体的な内容が条例で規定されており、本市の取り組みに比べより進んだ内容となっていると認識している。どのような形にすれば、より実効性のある、また恒久的な運用につながられるのか、さまざまな観点から検討し、判断していきたい。

**議員** 本市は中核市移行を目指しており、中核市になればさらに人材育成に努めなければならないと考えるが、自己啓発休業制度（※）を導入し、人材育成に取り組む考えはないか。

**総務部長** 三重県をはじめ近隣自治体で導入しているところは少ないが、今後、人材育成は本市にとってますます重要になると認識している。既に制度を導入している先進地の調査研究を進め、実際に取得した職員の復帰後の職務の状況や、導入の効果などを十分見極めながら、制度導入に向けて検討していきたい。

**議員** 人材育成は最重要課題である。県内最初の条例制定を強く望む。



職員のさらなる資質向上が求められる

※ 多様化する社会状況に対応できるよう、職員の自発性や自主性をいかにした能力開発や国際協力の機会を提供するための休業制度

公共交通

安心して免許返納ができる社会を目指して



政友クラブ  
中村 久雄



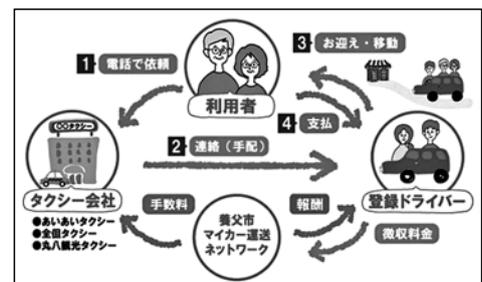
**議員** 小山田、水沢、桜地区でのデマンド交通社会実験で、平成29年度は市内南西部への対応や、利用できるタクシー台数、乗務員不足という課題が出た。平成30年度はどうだったか。また、公共交通不便地域とあるが、一日数便でもバスが走っていれば不便ではないとするのか。

**都市整備部長** 対象者の年代を拡大し、行先の制約を無くしたが、利用条件を緩和しても利用が高齢者に偏ることや利用条件によって、移動の特性が変わることなどが新たに分かった。引き続き可能性を探りたい。また、鉄道、バス、タクシーのいずれかは利用できる本市では、公共交通空白地域はなく、駅から800mバス停から300m離れた所を不便地域としている。

**議員** ビジネスとして成立しない公共交通を福祉と捉え、交通弱者のための持続的なシステムについて各部局が主体的に連携し、考えていく必要があると考える。市長の見解を求める。

**市長** 現在、福祉と公共交通それぞれでサービス向上を図っている。これらを密接に絡ませ、

多くの方の交通手段を確保できる街にしたい。  
**議員** 兵庫県養父市のやぶくるという市民ドライバーによるマイカー運送事業は、タクシー会社等と連携し、地域の空いた車両を活用するなど先進的である。マイカーの便利さに慣れた現代人は、数時間に一本のバスを待たず、運転免許証を返納できない。行政と事業者が情報共有し、共に公共交通を考えていくよう強く望む。



養父市の「マイカー運送事業」イメージ図

## 英語教育

# 子どもたちが楽しんで学べる英語教育を



友友クラブ  
荻須 智之



**議員** 本市の小中学校英語教育について、これまでの取り組みと成果はどうか。

**教育長** 小学校の英語教育は、来年度の新学習指導要領の全面実施に向けて本年度から前倒して実施しており、英語専科教員と学級担任とのチーム・ティーチングによる指導や小学校教員の実践的な研修にも取り組んでいる。中学3年生で英検3級程度以上の英語力を有すると思われる生徒の割合は43.2%で、全国平均を0.6ポイント上回っている。実際、英検3級以上を取得している生徒の割合は20.5%で5年前と比較すると約2倍となっており、本市の中学生の英語力が向上していることがうかがえる。

**議員** 英語を学ぶには、母国語である日本語

をしっかりと身に付けることも重要であるが、小学校における時間割の変更や既存の教科の授業時間が減ることはないのか。

**教育長** 授業時間数は1時間増になるが、既存の教科の授業数が減ることはなく、時間割は、各校で実態に合わせ工夫して進めていく。

**議員** 小学校では、英語に加えプログラミングの授業も増えている中、児童の負担が増えることへの対策はどうか。

**教育長** 子どもたちの在校時間が著しく増えることのないよう、一週間の学校生活の中でバランスを取り各学校で教育課程を工夫していく。

**議員** 子どもたちが意欲と目的意識を持って楽しく学べるよう、今後の取り組みに期待する。

## 通学路

# 命を守る道づくり



友友クラブ  
伊藤 嗣也



**議員** 各地で子どもが被害者となる悲惨な交通事故が発生しており、心を痛めている。このような事故を受け、迅速に対応する自治体が現れる中、本市も早急に対策を講じる必要がある。子どもの命を守るため、教育委員会は危険箇所を把握し、必要な整備を関係機関に働きかけるとともに、市長にも協力依頼すべきではないか。

**教育長** 四日市市通学路交通安全プログラムに基づき児童生徒の安全確保を図っている。各管理者が役割分担を意識し、責任を持って対応することが必要であり、歩道等のハード面の対策は道路管理者や公安委員会に求めている。また、市長と意思疎通を図り、安全確保に努める。

**議員** ソフト面の対応については教育委員会

が責任を持ち、ハード面の対応については道路管理者や公安委員会が責任を持つということか。

**教育長** 教育委員会および学校は、児童生徒の安全安心を守ることに對してソフト面での責務を負う。道路の整備や管理については道路管理者や公安委員会が責務を負うものである。

**議員** 教育委員会は、通学路における児童生徒等の安全を確保するため、学校、地域、保護者、他部局や関係機関等と連携を強化し、対応に努めていることが伝わってきた。今後も児童生徒等の安全確保のために、通学路整備の観点からは、道路管理者も含め、関係する部局が自らの役割を再認識し、責任を持って、迅速かつ的確に取り組むことを強く求める。

## 避難所

# 電気インフラを強化し、災害に強い四日市へ



公明党  
樋口 博己



**議員** 市の施設には外部から高圧電流が流れてきており、高圧受変電設備を通して施設内に電気が供給されているが、有事の際に高圧受変電設備に不具合があると、交換用機器の入手が難しいことから復旧が遅れたり、周辺の施設にも停電が波及する危険性もある。高圧受変電設備の保安業務には電気主任技術者の資格が必要だが、本市施設における当該設備の維持、管理状況はどうなっているのか。

**財政経営部長** 電気事業法に基づき高圧受変電設備の法定点検を実施しており、異常発生時にも24時間迅速に対応できるよう、電気主任技術者を有する事業者に保安業務を委託している。高圧受変電設備の更新周期は25年としているが、

法定点検の結果に応じて適宜更新していく。

**議員** 本市では大規模災害等に対する現在の取り組みを分析し、課題を抽出した上で、今後の取り組みをまとめているところだが、電力インフラを項目として記載し、市の施設全体をしっかりと把握するべきではないか。

**危機管理監** 避難所の電力確保について課題があると評価しており、自家発電装置の屋上移設等の対策を進めてきた。計画的に対策を進め、災害に強いまちづくりを進めていきたい。

**議員** 停電時の非常用電源としても活用できる電気自動車の各地区市民センターへの導入なども含めて、災害時に速やかに電気を復旧できる体制を目指してほしい。

十四川水害

十四川は水門を開けば溢れないのを認めた館副市長



政友クラブ  
小川 政人



**議員** 裁判は終わったという発言の真意は。  
**館副市長** 行政は判決に従うべきと答えた。

**議員** 市の損害賠償請求を認めなかった。それ以外は法的解決していない。十四川溢水問題で貴方とヒアリングを4回したが、十四川はネック点（北星高校付近）から下流は溢水しないという私の考えに間違いと答えたことはない。

**館副市長** 裁判所も私も、浸水シミュレーションは合理的で富田地区の浸水被害の再現性があると考えている。

**議員** シミュレーションは当時の現象に似せようと、120ミリの雨でも、樋門付近しか溢れなくした。本来ネック箇所から流れてくる水でも、9トンから十数トン流れてくるから、水門を閉めて6トンのポンプだけなら溢れる。水門を開けていれば溢れる水は流れていかない。これは違うのか。

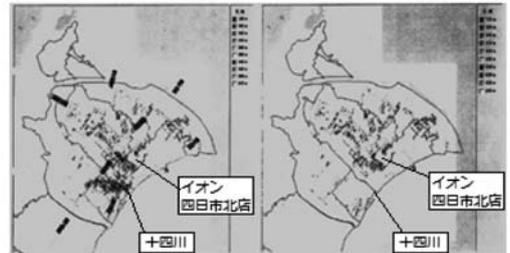
**館副市長** ネック点を通過した水は一般的に流れます。そこは議員と議論するつもりはない。

**議員** 豊栄樋門を午後2時に開けた時と終日

閉めた時のシミュレーションの浸水現象の差異と被害状況を当てはめて説明する責任がある。

**館副市長** シミュレーションについて、私は合理性があるという考えである。議員は不合理という考え。差異があるから説明するのは合理性がない気がする。

**議員** 貴方の合理的で再現性があるとの考えで説明する責任がある。



東海豪雨時の再現。(左)樋門閉 (右)樋門を開けていたと仮定した場合の浸水シミュレーション

防災対策

新しい考え方で防災を日常に取り入れよう



公明党  
荒木 美幸



**議員** 防災に関する新しい概念として、フェーズフリーという考え方が広まってきている。例えば、商品やサービスを日常生活でも災害時でも役立つようにデザインすることで、生活の質が確保され、人々の防災意識に頼らずとも災害に強い安全で安心な社会が実現できるという考え方である。今後、地域防災計画や策定中の新総合計画へフェーズフリーという新しい概念を取り入れるべきと考えるがどうか。

**危機管理監** 防災を日常生活に取り入れることの大切さについて、今後、新総合計画の策定を進める中で議論するとともに、出前講座や市の広報などで啓発していきたいと考えている。

**議員** 法改正により、国内で製造・販売することが可能となった乳児用液体ミルクはフェーズフリーの考え方にもつながる。三重県は今年度の一般会計補正予算で災害時の備蓄の導入を発表したところであるが、本市の見解はどうか。

**危機管理監** 液体ミルクは、常温での保存が可能であり、地震等でライフラインが途絶した

場合でも、水を使用せずに授乳できる利点があるが、粉ミルクに比べ割高になることや、賞味期限が短いことなどの課題もある。今後、どのような製品が災害時の備蓄品に適しているのか、さまざまな角度から検討していきたい。

**議員** 今後、備蓄品としての需要が増えれば、手が届きやすい価格になるのではないかと推測される。導入に向けて前向きに検討してほしい。



災害時にも利用しやすい液体ミルク

## 認知症施策

# 一人一人が生き生きと暮らせる社会を目指して



公明党  
山口 智也



**議員** 政府は新たな認知症施策推進大綱を閣議決定し、認知症の有無にかかわらず共生できる社会の実現に向けた取り組みが全国に広がっている。本市でも条例制定などにより重要課題として位置付けていくべきではないか。また、本市の認知症サポーターは役割が明確ではないため、本人やその家族と、認知症サポーターをつなぐ仕組みが必要と考えるがどうか。

**健康福祉部長** 認知症施策の推進はこれまでも増して重要課題であると考え、新総合計画の策定において議論していく。また、認知症サポーターについては、現在、より具体的な活動に携わる認知症フレンズの養成に取り組んでおり、今後話し相手やお手伝い等、活動の場を増

やし、役割の明確化やメニュー化を図りたい。

**議員** 全国では認知症が原因の行方不明高齢者数が過去最多を更新した。発見の遅れが著しく生存率を低下させることから、SOSメール、事業者との見守り協定に加え、ICTを活用した検索の迅速化が必要と考えるがどうか。

**健康福祉部長** 現行施策はどちらも通報につながった実績があり、地域全体で認知症高齢者を支える意識づくりにも有効なため、今後も周知啓発に努めたい。また、QRコードをはじめとするICTを活用したものについても、費用対効果も踏まえて具体的に検討したい。

**議員** 現行施策の積極的な情報発信やICT活用による検索機能の強化や迅速化を強く望む。

## 伊坂ダム

# 伊坂台と伊坂ダムをつなぐ遊歩道の実現に向けて



無党派  
小田 あけみ



**議員** 2021年開催の三重とこわか国体（以下、国体）のカヌー競技会場である伊坂ダムは、今でも多くの方々が訪れ、駐車しづらい状況がある。国体時における駐車場対策はどうか。

**スポーツ・国体推進部長** 既存の駐車場の台数を前提に計画を策定し、観覧者については、新たに設置する臨時駐車場などからシャトルバス輸送を行うなどの考え方を基本に検討する。

**議員** 現在、伊坂台から伊坂ダムまでは私有地を通るルートしかなく、歩いて行くことができない。伊坂台から伊坂ダムまでつながる遊歩道があれば徒歩で国体会場へ行く人も増え、国体をさらに盛り上げることができると考える。市として、遊歩道は実現可能と考えるか。また、

整備にどれくらいの期間がかかるか。

**都市整備部長** 遊歩道の整備にあたっては、生活に身近な道路整備事業の活用が考えられ、本事業を活用する場合、民有地の地権者からの用地の寄付が原則である。また、用地測量や現地の測量・設計も必要となり、整備までには相応の年数がかかる。その他の手法として市民緑地制度を活用した手法も考えられる。地域の理解や協力が前提となる制度であり、地域で取り組むということであれば相談をもらいたい。

**議員** 国体までに整備することは難しいかもしれないが、遊歩道が実現すれば、名古屋や桑名方面など新たな集客も見込めると考えている。実現に向けた対応が行われることを望む。

## ひきこもり

# 大人のひきこもりに支援の手を



日本共産党  
豊田 祥司



**議員** 内閣府が行った調査結果によると、自宅に半年以上閉じこもっている、いわゆるひきこもりの人数は、全国で15～39歳が54.1万人、40～64歳が61.3万人となっており、若者だけではなく、大人のひきこもりへの支援の必要性を感じた。80代の母親が50代の子どもを養っている事例について相談を受けたことがあるが、子どもからの暴力や母親の高齢化など、多くの問題が絡み合っており、早期にひきこもりを解決できなかったことがさまざまな問題を誘発している印象を受けた。本市のひきこもりに関する支援の現状はどうか。また、支援に結び付けるためにどのように周知啓発していくのか。

**健康福祉部長** ひきこもりに関する相談は保

健所が窓口となり対応しており、直近3年間の相談実人数は36人である。ひきこもりは医療的、心理的な支援が必要な場合もあり、早期の治療や診断から各種福祉サービス等につなげていくことも可能だが、家族だけで解決しようとするなど相談をためらうこともある。そのため、相談窓口の周知や講座の開催等を広く情報提供していく必要があると認識している。今後、庁内の各種相談窓口とさらなる連携を図り、市民のニーズやサインを早い段階で受け止めるとともに、相談窓口の周知啓発にも努めていきたい。

**議員** 現在、ひきこもりの問題は社会的に注目されており、世間の認識を改める好機であることから、支援体制の充実に力を入れてほしい。

保 育

子育て世代が安心して働ける環境を整備せよ



日本共産党  
太田 紀子



**議員** 先日、市内の公立保育園に通園中の保護者の方から、延長保育を実施している私立保育園に入園できず、時間内に送迎できるか不安があるとの相談を受けた。現在、延長保育を実施している中央保育園、下野中央保育園以外の公立保育園でも延長保育を実施できないか。

**こども未来部長** 本市では、私立保育園31園中30園が延長保育を実施しており、全市的に適正に配置されていると考えている。公立保育園では、主に特別な支援が必要な子どもたちへの保育を提供するなどといった役割分担の中で、就学前教育、保育を行っている。今後も私立保育園を中心に延長保育を実施していきたい。

**議員** 待機児童がゼロとなった本市において

も、年度途中の入園は厳しい状況であるため、さらなる保育士確保や保育施設の整備を充実させていきたい、との新聞報道を目にしたが、施設整備をしても保育士がいなければ意味がない。市は具体的にどのような検討を行っているのか。

**こども未来部長** 保育士確保については、本市独自の施策として、私立保育園に対して保育士の平均勤続年数に応じた処遇改善や、潜在保育士を対象とした職場復帰の支援を目的としたセミナーを実施している。今後も、保育士確保および処遇改善に向けて検討を重ねていきたい。

**議員** 多くの自治体が保育士確保のため独自の対応を行っている。子育てするなら四日市を掲げるのであれば、さらなる施策を望む。

一般質問をした議員と項目

(質問順)

- 井上 進 ◆四日市市の西南部地域の今後について(西南部地域の土地の利用について、公共交通の充実、子育て環境の充実)
- 早川 新平 ◆四日市市議会議員選挙について、43.14%の現実をどう捉えるのか。改善策は。
- 谷口 周司 ◆「子どもの歯と口」どう守る? ◆「四日市市の民俗文化財」どう守る?
- 石川 善己 ◆市民の安全の為に～道路にかかる安全と課題について ◆文化財保護法の改正について～保護と活用
- 平野 貴之 ◆迷走する国際経済政策。未来を見据えて舵を切れ ◆みんなで守ろう点字ブロック
- 後藤 純子 ◆地区市民センターの現状について ◆中学校給食と真の食育とは
- 森川 慎 ◆シティプロモーションに見る本市組織のあり方、政策の方向性について
- 村山 繁生 ◆通学区の柔軟性について ◆『子育てするなら四日市』の本気度を問う
- 竹野 兼主 ◆これからの人材育成と職場環境について ◆新しい防災教育センターをめざして
- 伊藤 昌志 ◆31万人元気都市実現に向けて～子育て支援策～(子ども医療費窓口負担無料化の次の一手は? <→医療知識の普及、啓発>, 子宮頸がんワクチンのメリット・デメリットを分かりやすく伝えよう! <→情報の普及、啓発>) ◆31万人元気都市実現に向けて～少子高齢化、超少子高齢化、人口減少対策～(現代の重要課題「高齢者元気づくり支援事業」を盛り上げよう! <効果検証・改善>) ◆31万人元気都市実現に向けて～スポーツ環境～(誇れる中央緑地公園にしてください! <→安全・快適>, 誇れるハーフマラソン大会にしてください! <→特徴・人気>) ◆31万人元気都市実現に向けて～防災対策～(津波対策や避難誘導、着実に進めていこう! <→周知・安心>) ◆31万人元気都市実現に向けて～道路環境～(過去の交通事故事例をもとにした改善対応を徹底しよう! <→現状把握・協働>)
- 小林 博次 ◆今回の私立保育園での宗教上の制約がある園児に対する給食問題について!(問題発生時の保育園、認定こども園及びこども未来部の対応について!, 今後の対応について!) ◆三和商店街のその後の対応について!(崩落寸前の建物はいつ除却されるのか!, 三和商店街全体の除却は考えているのか!, 除却後の再開発計画は考えているのか!)
- 中村 久雄 ◆公共交通の明日を考える。～安心して免許返納ができる社会を目指して～
- 笹井 絹予 ◆2020年度プログラミング教育必修化に向けて(プログラミング教育の来年度実施に向けての進捗状況, プログラミング教育指導者育成について, 教材や学習指導案について, タブレット・パソコンの授業形態について, タブレットのWIFI環境について, 普通教室で行う場合、エアコン設置環境の進捗状況, パソコン教室を今後どのように活用していくのか)
- 荻須 智之 ◆小学校への英語科導入に伴う本市の対応について。 ◆朝明中学校、大矢知興譲小学校の教育課題解決の進捗状況について。
- 伊藤 嗣也 ◆命を守る道づくり(都市計画道路の見直し評価結果を受けた道づくり, 都市計画道路以外の道づくり, 園児が安心して散歩できる道づくり, 児童・生徒が安心して通学できる道づくり, 障がい者が安心して生活できる道づくり, 高齢者が安心して運転できる道づくり, 道づくりの優先順位)
- 小川 政人 ◆東海豪雨時の十四川溢水災害(代表者会議での『裁判は終わった』・『行政は司法に逆らえない』との発言の真意について, 東大土木工学部卒の館副市長は十四川の構造上J R関西本線下流では溢水しないとの知識がありながら、育った富田地区や被害者に役立てなかったのか, 時効になれば館副市長は両親や富田地区の人々の期待を裏切る事になるがよいのか)
- 荒木 美幸 ◆男女共同参画の視点の防災対策～その後～(地域における取組み状況と今後, “フェーズフリー”という新しい考え方について, “乳児用液体ミルク”いよいよ解禁!) ◆医ケアサポーターについて(本市の素晴らしい取組実績, サポーターのサポートは十分か, 持続可能な体制に向けて)
- 樋口 博己 ◆電気の道 電力インフラの点検・整備について ◆防災備蓄食料の有効活用について～食品ロス削減への取組み～
- 山口 智也 ◆人生100年時代の健康づくりについて～希望ある“幸齢社会”の実現を目指し～(認知症施策の強化, 健康寿命の延伸～フレイル対策の重要性～)
- 小田あけみ ◆伊坂ダムと伊坂台をつなぐ歩道の設置について～とこわか国体時の駐車場不足対策の1つとして～ ◆災害時の他市町との避難所共有について ～他市町と隣接する地区の避難所選定のあり方と、他市町との協力体制のあり方を問う～
- 豊田 祥司 ◆大人のひきこもり(四日市市の状況と対策は?) ◆選挙へ行こう(投票率を上げるには)
- 太田 紀子 ◆「子育てするなら四日市」というならば… ◆市営住宅について

**平成31年2月定例会議会の議会報告会の概要**

日 時	平成31年3月27日(水)		平成31年3月28日(木)	
	18:30～20:45		18:30～20:45	
常任委員会	総 務	都市・環境	教育民生	産業生活
会 場	羽津地区市民センター 2階第大会議室	日永カヨーショッピング センター1階中央広場	桜地区市民センター 2階大会議室	県地区市民センター 2階大会議室
シティ・ミーティング テーマ	○防災全般について	○所管事項全般 (あすなろう鉄道・ 中央緑地公園など)	○教育民生常任委員会 の所管事項全般に ついて	○農業について
参加人数	26人	14人	7人	14人

議会報告会では、議員からの2月定例会議会での活動報告に対して質疑をいただき、また、シティ・ミーティングでは、常任委員会ごとに決められたテーマに関して意見をいただきました。

いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動における一般質問や委員会での審査や、次回以降の議会報告会の開催に当たっての参考とさせていただきます。

**◆会場でいただいた意見・質疑（抜粋）**

各会場での主な意見交換の内容を要約してご紹介します。また、概要としてまとめたものを市議会ホームページに掲載しています。

**総務常任委員会**

○地域の防災力向上を図るため、防災大学等の講座を開催している中、こうした講座の受講者にはぜひ地域貢献をしてもらいたいと考えている。しかし、誰が講座の受講者・修了者であるのかが分からない状況であるため、市で明らかにしてもらえればありがたい。

⇒委員) 例えば、防災士の資格に関し、防災大学を通じた資格取得者については本市でも把握しているものの、それ以外の資格取得者については把握していないとのことであり、資格取得者の全体像を本市として適切に把握し、地域の防災活動にかかわってもらうよう働きかけるべきであるとの意見を委員会の場で述べたところである。現在、水防法の改正に伴う河川ごとのハザードマップの作成に向け、対象地域ごとにワークショップを立ち上げて順次活動を開始していくところであり、その中に防災の知識を有した地域住民が参画することにより、全市的な防災力向上につながればよいと考えている。

○定期的に開催されている市民総ぐるみ総合防災訓練について、挨拶や説明を広い校庭内でマイク1本で行うため、声が拡散し、聞き取りづらいことがある。聴覚障害者向けに数年前より手話通訳者が配置されているが、通訳者からは、声が拡散することからどのように通訳すればよいか分からないとの意見も聞くことがあるため、説明者等の声を聞き取りやすくするための工夫をお願いしたい。また、体育館にも防災用品等が展示されているが、そこには手話通訳者が配置されておらず、聴覚障害者にとっては少々不親切ではないかと感じる。誰もが平等に情報を得られるよう配慮してほしい。

⇒委員) 聞こえにくい音声について、リアルタイムで手話通訳することは難しいと考えるため、事前に進行について担当部局と手話通訳者側が打ち合わせをしておくことが有効であるとする。また、手話通訳者の増員配置等は可能ではないかと考えるため、いただいた意見を担当部局に伝える。

## 教育民生常任委員会

- 児童虐待を防止するためにも、警察等の関係機関への通報、また、教育委員会やこども未来部が警察と連携し、早期の学校訪問や家庭訪問につなげる必要があるのではないのか。  
⇒委員) こども未来部、教育委員会、警察、児童相談所が連携し、情報共有することは重要である。また、千葉県野田市や東京都目黒区で起こった虐待事案などを受け、国も児童虐待防止に向けた様々な通知を発出しているほか、児童虐待防止法の改正も見込まれており、それらを十分に履行していくことが重要である。議会としても、関係部局、関係機関が十分に連携し、早期かつ適切な対応をしていくよう強く働きかけていきたい。
- 高齢者の元気づくり支援事業について、市から、住民主体サービス等の案内があるが、具体的な立ち上げ方法等に関する助言がない。特に、市職員は定期的に人事異動があるため、専門性がないと感じており、地元に対してもっと働きかけてもらえるような体制にしてほしい。  
⇒委員) 住民主体サービスの立ち上げは地域だけの力では難しく、市職員による強力かつ継続的なバックアップが重要であり、市、地域、行政、社会福祉協議会、生活支援コーディネーターが連携しながら、徐々に形を作り上げていくことが肝要であると考え、市や社会福祉協議会に対して声を上げてもらうことも大切である。

## 産業生活常任委員会

- 農業センターの再整備については、中学校給食センターとの一体整備ということになり、いつの間にか中学校給食センターが主になっている。今後農業センターをどういった施設にしていくのか。  
⇒委員) 農業再生戦略会議では農業センターに期待される機能として「6次産業化のための実践・試作の場の提供」「『儲かる農業』の実現に向けた研修」「新規就農者への技術研修」「三重県や民間活力との連携」「食育や農業体験の場」「農業者の相談窓口」が提案されている。また、農家、関係機関、地元自治会等からは「一般市民向けの農業の総合的な相談窓口」「先端技術などの情報発信の場」「食育・農業体験のできる施設」「地元特産品の情報発信・販売・試作の拠点」「農業者が研修・会議のできる場」「市民菜園としての利用」などの意見が出されている。市では来年度からこれらの提案・意見の中で未実施の部分を実施していく予定である。
- 農家の方からは作った作物を加工して販売する場所がないという話も聞くので、農業センターにそういった機能を持たせることも1つの考え方ではないか。  
⇒委員) 国による農業に対する支援政策などを農業センターが調べ、農家に情報提供していくなどの役割が持てればよいと考える。  
⇒委員) 農業センターが新しい農業技術や仕組みを確立し若い世代に提供していくならば意義は高まる。例えば日本の農作物は海外では高値で売れるので、海外で販売するための仕組みづくりを農業センターが担っていくならば予算を投じていく価値もあると考える。

## 都市・環境常任委員会

- 堀木日永線などの自転車レーンが整備されている道路の中には、自転車レーンをかすめるように自動車を通らざるを得ないような狭いところもあり、自転車レーンを使用することがかえって危険を伴うことになるのではないのか。  
⇒委員) 自転車レーンに関する危険な箇所については、議会としても市に対して改善を図るように指摘しており、今後も現状を把握の上、改善すべきところは改善するように働きかけていく。加えて、歩行者優先、自転車優先という交通安全に対する意識を高めることで、歩行者や自転車の安全確保を図っていく。いただいた意見は、担当部局にも伝える。
- あすなろう鉄道のシースルー車両について、導入されてから乗車したが、夜間だったため車両の下の景色を見ることができなかった。全ての運行でとは言わないが、主要駅に停車した際にライトアップをし、車両の下を見ることができるようになると、枕木等にこにゅうどうくんのイラストをプリントして、子どもが探すような仕掛けがあると喜ばれると思うので、検討してほしい。  
⇒委員) 子どもだけでなく大人も楽しめるような仕掛けであり、興味深い提案をいただいたと思う。いただいた意見は、担当部局にも伝える。

### 議員説明会を開催

5月24日に、大矢知興讓小学校増築整備事業について、行政側から説明を受けました。それらに対して、議員からは多くの質疑や意見が出されました。

### 市議会モニターの委嘱式

令和元年度の市議会モニター(52人)への委嘱式を5月29日に行いました。

モニターの皆さんには、市議会の運営に関する意見、提言などをお願いしています。



### 女性議員と議長との懇談会

本年5月の市議会議員選挙により、四日市市議会の女性議員が6名となりました。

今後の議会運営や議会改革の推進に、女性議員からも意見を出しやすく、また、女性議員の視点からの意見をより多く取り入れられるよう、6月21日に正副議長と、女性議員6名との懇談会を行いました。

### 6常任正副委員長と議長との懇談会

委員会における政策サイクルの確立や決算認定および予算審査の連動を行うため、今年度より常任委員会委員の任期を2年としました。今後の各委員会における運営方針の共有のため、6月17日に正副議長と各常任委員会正副委員長との懇談会を行いました。

## 8月定例月議会の予定

(日程は都合により変更する場合があります)

8/28(水)	初日	午前10時
9/4(水)	一般質問	午前10時
5(木)	一般質問	午前10時
6(金)	一般質問	午前10時
9(月)	一般質問	午前10時
10(火)	一般質問・追加議案説明・ 質疑・委員会付託	午前10時
11(水)	各常任委員会/予算、決算各分科会	午前10時
12(木)	各常任委員会/予算、決算各分科会	午前10時
13(金)	各常任委員会/予算、決算各分科会	午前10時
17(火)	各常任委員会/予算、決算各分科会	午前10時
18(水)	各常任委員会/予算、決算各分科会 (予備日)	
24(火)	決算常任委員会全体会	午前10時
25(水)	決算常任委員会全体会	午前10時

26(木)	決算常任委員会全体会	午前10時
27(金)	決算常任委員会全体会(予備日)	
30(月)	予算常任委員会全体会	午前10時
10/1(火)	予算常任委員会全体会(予備日)	
4(金)	最終日(委員長報告・採決)	午後1時

10(木)	議会報告会(総務、都市・環境)	午後6時30分
11(金)	議会報告会(教育民生、産業生活)	午後6時30分

※すでに終了している委員会は、9/18、27、10/1は開催しません。  
 ※一般質問の模様をCTY122ch(サブチャンネル)で放送する予定です。  
 ※本会議の模様は市議会のホームページで生中継し、その映像は、後日録画中継として配信します。  
 ※各常任委員会の模様はYouTubeで生中継および録画中継がご覧いただけます。市議会のホームページからご覧ください。

### あとがき

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

#### 広報広聴委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎諸岡 覚 ○中川 雅晶 伊藤 昌志 井上 進  
 小田あけみ 笹井 絹予 村山 繁生 森 智子

### ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号

四日市市議会事務局

Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

#### Eメールアドレス

shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

#### ホームページ

四日市市議会 検索